

2021年4月5日

宛先各位

HealthCare Innovation 21 研究会 事務局長
国際医療福祉大学大学院 前 特任准教授
株式会社MB I 代表取締役
成田 徹郎

医療介護 DX 研究会 — プログラム医療機器勉強会開催のご案内

前略 貴社益々ご清栄の程お慶び申し上げます。

COVID-19 の Pandemic がまだまだ収まらない状況ですが、如何お過ごしでしょうか

内閣府規制改革推進会議は 令和 3 年度よりデジタル化を推進すべく医療・介護ワーキンググループをベースに各種の規制緩和をしようとしています。医療業界におきましても、オンライン診療の規制緩和や地域包括ケアシステム実現のための遠隔診療・電子処方箋・PHR・EHR の推進を進められて行こうとしています。

今回、内閣府にて規制改革推進会議医療・介護ワーキンググループにて委員をされている武藤正樹先生により、SaMD (Software as a Medical Device) について米欧の現状と日本での課題について情報提供を頂きます。アップルウォッチ心電計やキュアアップ社の禁煙アプリの承認の現状について研究したいと思います。その為に、(株)Cure App 社の佐竹社長にご講演いただき保険収載迄の苦労話や今後の事業展開についてお話頂きます。つきましては、下記要領にて、リモート形式で勉強会を開催致しますので、医療関係者のみならず IT 事業者、データベース事業者、医療 IT コンサルタントの方々のご参加をお願いいたします。

草々

開催要領

日時：2021年4月21日 16:00~18:00

場所：リモート形式での開催を予定していますので、リアル会場はありません。

協賛：株式会社日本医療経営研究所（日医研）

Agenda

- 講演 1 「プログラム医療機器 (SaMD) の現状と課題」
演者： 社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ相談役
よこすか地域包括ケア推進センター長 武藤 正樹 MD. PhD.
- 講演 2 「(株)CureApp の『禁煙アプリ』の開発と事業展開について」
演者： 株式会社 CureApp 代表取締役社長 佐竹 晃太 医師
- Discussion： 参加者全員

参加費：5,000 円 (税込み)：お支払い方法は申し込みをされた方へ別途ご案内いたします。参加申込方法：HealthCare Innovation 21 研究会サイト (<http://www.hci21.org/>) にてお申し込まれるか、下記までご連絡ください。

成田徹郎 tn453123@gmail.com 講演者プロフィールは次ページです。

以上

講演者プロフィール1

武藤正樹 MD, PhD.



1949年神奈川県川崎市生まれ。1974年新潟大学医学部卒業、1978年新潟大学大学院医科学研究科修了後、国立横浜病院にて外科医師として勤務。同病院在籍中1986年から1988年までニューヨーク州立大学家庭医療学科に留学。1988年厚生省関東信越地方医務局指導課長。1990年国立療養所村松病院副院長。1994年国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長。1995年国立長野病院副院長。2006年より国際医療福祉大学三田病院副院長・国際医療福祉総合研究所長・同大学大学院教授、2007年より(株)医療福祉経営審査機構CEO、2011年より(株)医療福祉総合研究所代表取締役社長(兼務)、2013年4月より国際医療福祉大学大学院教授(医療経営管理分野責任者)、2014年4月参議院厚生労働委員会調査室客員調査員(兼務)、2018年4月より国際医療福祉大学大学院教授(医療経営管理分野責任者、医科学研究科医療福祉管理分野責任者、国際医療福祉大学医療マネジメント学科)、2020年7月より社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ相談役よこすか地域包括ケア推進センター長で現在に至る。

政府委員等

医療計画見直し等検討会座長(厚生労働省2010年～2011年)、精神科医療の機能分化と質向上に関する検討会座長(厚生労働省2012年)、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部「医療情報化に関するタスクフォース」レセプト情報等活用作業部会座長(内閣府2011年～2012年)、ジェネリック医薬品品質情報検討会委員(厚労省2008年～)、東京都地域対策協議会委員(東京都2008年～2017年)、入院医療等の調査評価分科会会長(中医協2012年～2018年)、内閣府規制改革推進会議医療・介護ワーキンググループ専門委員(2019年～)

講演者プロフィール 2

佐竹 晃太氏



株式会社 CureApp 代表取締役社長兼医師

慶應義塾大学医学部を卒業後、日本赤十字医療センターなどで呼吸器内科医として勤務。

2012年より中国上海中欧国際工商学院、米国ジョンズホプキンス大学公衆衛生大学院に留学し、グローバルな視点で医療や経営を捉える経験を積む。米国大学院では公衆衛生学を専攻する傍ら、医療インフォマティクスの研究に従事する。帰国後、2014年に株式会社 CureApp を創業し、慶應義塾大学呼吸器内科や東京大学附属病院消化器内科と、疾患治療アプリの共同開発を行っている。

上海中欧国際工商学院（CEIBS）経営学修士号（MBA）修了、米国ジョンズホプキンス大学公衆衛生大学院公衆衛生学修士号（MPH）修了。